

## 神奈川県新しい公共支援事業 公開プレゼンテーション案件の概要

### A : 寄付の仕組みの充実

整理番号	応募団体名	合計 200点満点	事業概要	予算額合計	
				(H23予算額)	(H24予算額)
A-1	(特非)神奈川子ども未来ファンド	141	市民から志あるお金を集め、市民社会づくりをめざして、公益的な活動を行っているNPOなどへ助成する市民ファンドの仕組みを地域社会に定着させていくために、先駆的に活動を行ってきた神奈川子ども未来ファンドの10年間の活動を様々な視点から検証し、市民ファンドの意志や役割、市民ファンドの設立や運営、寄付集め等のポイントを浮き彫りにする。それらの結果をまとめて報告書を作成し、インターネット等を通じて情報提供していく。	3,850,000	
				(1,850,000)	
				(2,000,000)	
A-2	(特非)ぐらす・かわさき	127	当法人による「(仮称)かわさき市民ファンド」の設立や運営にかかわる以下の試行事業を通じて、他の地域の市民ファンドの設立や運営に役立つ情報を収集し、提供する。 A. 寄付の情報公開・可視化の促進 B. ファンドレイジングの多様化 C. 中間支援機能の充実	4,000,000	
				(2,000,000)	
				(2,000,000)	

### B : 次世代に寄付への理解を広げる学習プログラムの開発・普及

整理番号	応募団体名	合計 200点満点	事業概要	予算額合計	
				(H23予算額)	(H24予算額)
B-2	公益社団法人 日本フィランソロピー協会	143	米国で20年の実績を持つ学校単位による募金を核としたサービスラーニングプログラム「PENNY HARVEST PROJECT」を基盤に日本の実情に適合するプログラムを開発する。地域社会の課題の掘起しと募金活動、寄付先選択、ボランティア活動を内包し、主として小中学生の主体的参加と選択のもとで実行されるプログラムである。教員や地域住民、大学生は補佐の立場であり、NPOなど中間支援組織がプロジェクトマネジメントを行う。 1年目はプログラム開発と認知促進、2年目はプログラムの教育現場への導入環境を整備する。	3,973,977	
				(1,989,175)	
				(1,984,802)	

整理番号	応募団体名	合計 200点満点	事業概要	予算額合計	
				(H23 予算額)	(H24 予算額)
B-3	(特非)日本ファンドレイジング協会	137	<p>主に小学5・6年生～中学3年生の子どもたちを対象に、寄付についての体験型プログラムを開発し、20教室程度で提供しモデル化を図る。その中で教育効果として、子どもたちに対して、次の3つの目標の達成を目指す。</p> <p>①自らが社会に貢献できるかけがえのない存在であることを知り、自尊心や自立心を養う</p> <p>②様々な価値観に基づいて社会をよくする活動をしている人たちや、様々な視点で応援しようという人たちを知り、自らに合った社会貢献について考える機会を持つ</p> <p>③寄付をするということが、どういう意味があるのか考え、実際の寄付先を選択する模擬体験をする</p>	4,000,000	
				(2,000,000)	
				(2,000,000)	
B-1	(特非)いのちのミュージアム	104	<p>学生が自らNPOを選択し、『だれかさんのための貯金箱』を利用して寄付を募り、選択したNPOに寄付することで寄附促進を図る事業。</p>	—	
				(2,000,000)	
				—	

### C : 寄付の成功体験を創出するプログラムの企画・実施

整理番号	応募団体名	合計 200点満点	事業概要	予算額合計	
				(H23 予算額)	(H24 予算額)
C-5	(特非)かながわ女性会議	113	<p>今、自分が社会の役に立ちたいと思ったときの選択肢に「寄付」という手段があることを小学校・中学校・高校の講座で啓発していく。学校で子どもが実践できる範囲のワークショップ等のなかで、「寄付をする」「寄付を集める」といった行為が人の役に立つことを実感させることが、このプログラムのねらいである。</p> <p>また、大学生向けとして、ワークショップを行い、ファンドレイジングの手法を取り入れた実践的ワークの中で、プラン作り、プレゼン、企業回りなど、社会人になってから必要とされるスキルを身につけさせるプログラムも視野に入れている。</p>	5,321,000	
				(2,000,000)	
				(3,321,000)	